

旧三好記念館コレクション 蔵品展

染付の魅力

中国の元（1272～1368）
明（1368～1644）時代の
染付磁器をはじめ
日本の草創期の伊万里
輸出物時代の伊万里など
旧三好記念館コレクションの中から
是非見ていただきたい染付磁器を
中心に展示する第二回目の蔵品展。
お近くにお越しの際は、どうぞ
お気軽にお立ち寄り下さい。

開催日時

平成24年9月8日(土)～9月23日(日)
10:00～16:00 ※休館日：9/10(月)、18(火)

会場

佐野市文化会館 展示室B
栃木県佐野市浅沼町508番地5

入場料

無料

主催・お問い合わせ先

財団法人 三好園

〒327-0317 栃木県佐野市田沼町362 TEL. 0283-62-5497
<http://www.sankouen.org/>





染付 葡萄唐草文水注



伊万里 染付 吹墨白兔文皿



染付 宝相華唐草文筆筥



伊万里 染付 蓮池水禽文大鉢



染付 菊花文四方小壺



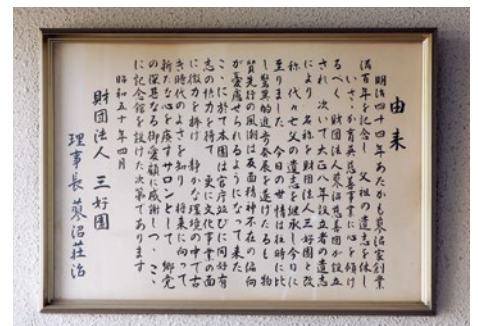
伊万里 染付 松竹梅文徳利

染付の魅力

白磁の素地の上に直接絵筆をもってコバルト顔料で文様(もんよう)を描き、透明の釉(ゆ)のをせて焼成した「染付」は、中国では「青花」ともよばれています。釉薬中心の作風から絵付け中心の時代へと大きく展開していく立役者でもあり、この技法は14世紀の初頭、景德鎮窯で開発されました。染付の草創期らしい力強い作振りや民窯ならではの親しみやすい作風が特徴です。

またこれら中国の古染付を手本に製作が開始された日本の初期伊万里は、顔料である呉須(ごす)を使って文様を抜く吹墨(ふきずみ)の手法をはじめ、濃紺の染付の発色、精巧な白磁胎などを堪能していただけます。

写真: 旧三好記念館(S49~H20)



三好記念館は、1974年(昭和49年)、美術工芸品の展示を通じて地域文化の発展に資することを目的に現在の佐野市田沼町に設立されました。栃木県南地域で博物館登録を受けた最初の私立考古館として、主軸の古伊万里等を中心に常設展示を心掛け、

県内外より多くの愛好家が来館されました。また、財団法人日本陶磁協会とちぎ県南支部の例会場として毎月会員が集い、研修をする場としても活用されてきました。